



## 本市の持続的発展を目指し 厚木基地とどう向き合うか



志政あやせ 古郡 敏正

### ●災害発生時における厚木基地と綾瀬市との連携体制

Q 第二種区域の見直しにより、移転補償跡地が区域外となった場合、どのような取り扱いとなるのか。

A 区域外となる場合は、管轄が防衛省から財務省へ変わるが、移転補償跡地に対する市の要望には、適切に対応すると聞いている。

Q 厚木基地内への救急出動が、市救急隊の業務負担となっていないか。

A 基地への救急出動は、

1件当たりの平均所要時間が通常の出動より長く、一時的な救急体制の逼迫の要因となることから、一定の負担はあるものと認識している。

Q 大規模災害時の米海軍厚木基地との連携体制は。

A 災害対応準備と災害救援活動の相互支援に関する活動範囲を定めた覚書を締結しており、実行性の確保のため、連携強化に努めている。

●農業者支援と営農環境の充実  
実

Q 農業振興事業補助金の



## 不登校の子ども一人一人に 合わせた学びの支援体制は



公明党 野田 広吉

### ●本市の不登校児童・生徒の学びの支援について

Q 不登校児童・生徒数の現状は。

A 全国的に増加傾向にあり、本市も令和4年度は248人、5年度は282人と増加傾向にあったが、6年度は254人で28人減となった。

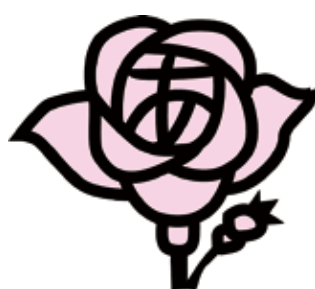
Q 困難を抱える子どもたちが発するSOSをどのように把握しているか。

A 教職員が児童・生徒の様子を日頃から細かく観察し、変化などの発見に努めているほか、各小・中学校でスクールアンケートを月に1度実施するなど、子どもから話を聞く機会を設け、状況把握を行っている。さらに、令

和5年度より、かながわ子どもサポートドックの取り組みとして、全ての子どもたちの困難を確実にキャッチできるよう、プッシュ型面談による二一の把握に努めている。

Q 不登校児童・生徒が校外で学習した場合の出席の扱いはどうなるか。

A 令和元年10月の国の通知に基づき教育委員会で作成した方針により、校外施設で相談や指導を受けたり、ICTなどを活用した学習をした場合、学校、保護者や施設が連携し、適切な支援が実施されていることを確認した上で、校長が教育委員会と連携を取り、総合的に判断し出席扱いとすることができる。



市の花「ばら」

上限額見直しと、農家が抱える課題に対応する新たな補助制度を考えないか。

A JAさがみを通じて毎年ヒアリングを実施し、実情やニーズ把握に努めるとともに、適宜、補助内容を見直ししている。新たな支援策の必要性など、より効果的な補助制度となるよう研究していく。



## 廃棄物の資源化によりコストと環境負荷の低減を



公明党 天笠 哲史

### ●廃棄物を資源とする処分費削減と環境負荷を低減する資源の循環について

Q 伐採材の一部を薪や工作用材料などに再利用し、市民に還元できないか。

A 細かく砕きチップ化した後に花壇などへ敷き詰め、雑草対策としているほか、花壇の枠などの補修材としても活用している。薪などの提供は考えていないが、再利用の事例を参考にしていく。

Q 不法投棄自転車の処分として、リサイクル業者への委託や売却を検討しないか。

A 処分方法は、道路や公共施設全体の問題であるため、他自治体の先進事例などを参考に調査研究していく。



## 物価高騰に対応する効果的で柔軟な支援策の実施を



公明党 三谷 小鶴

### ●物価高騰対策について

Q お米券に限定せず、幅広く利用できる商品券や電子クーポンを活用する考えは。

A 食料品の物価高騰に対する特別加算という交付金の趣旨を踏まえ、即時性や利便性、コスト削減などを総合的に考慮し、商品券や電子クーポンの活用も検討していく。

Q 国の交付金に市独自の額を上乗せして、全ての市民に行き渡る支援をしないか。

A 市独自の額を上乗せした商品券で給付する場合、効

果的で公平な支援策になると考える。さまざまな給付方法を調査研究していく。

●投票しやすい環境整備について

Q 若年層への啓発策として、SNSの活用やデザイン性のある投票済証明書を作成しないか。

A 市公式インスタグラムを活用した関連情報や動画配信を検討していく。投票済証明書は、バラとあやびのイラストを入れた現行デザインのほか、証明書の種類の追加



市公認キャラクター「ブタッコリ〜」



1月18日、「駅伝競走大会」が開催されました<綾瀬スポーツ公園にて>

## 議会用語の ミニ知識

### 「本会議と 委員会」

議会の会議には、大きく分けて本会議と委員会があります。本会議とは、議員全員で構成する会議のことをいい、年4回3月、6月、9月、12月に開催され、必要に応じて臨時会も開催されます。議会としての権限や能力は本会議に認められるもので、議会の議決、承認、同意などは、この本会議で行わなければならない法的な効力があります。

これに比べ委員会は、議会の内部組織として、議員の一部をもって構成する会議のことをいい、議会の運営を協議する議会運営委員会の他に綾瀬市には、3つの常任委員会と基地政策特別委員会があります。これらの委員会は、本会議での審議の予備的審査、調査機関として設置されるものです。

